

第 43 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 10 月 3 日
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員数 6 名

出席委員	鈴木 信好	委員長
	岡部 えり子	副委員長
	佐々木 隆一	委員
	土田 百合子	委員
	菊地 清志	委員
	辻 正憲	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 6 名

奥山 和彦	代表取締役社長
高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長/番組審議会事務局
鈴木 瀬菜	支援室
高橋 一親	支援室
細川 正実	営業部/番組審議会事務局

(1) 10月課題審議 審議番組『ア・ラ・美 JOY』
(平成30年9月14日 金曜日 午後1時～ 放送分)

(2) その他

4. 審議事項

(1) ①審議番組『ア・ラ・美 JOY』について

【委員からの意見】

- ・初めて聴く番組だったが、男性の声か女性の声かわからなかった。
- ・被災した子どもたちの声などを放送するのは大切なことだし、風化させないためにも FM の果たす役割は大きいと思う。
- ・災害時なにが大事かを聴かれ「水」というのを聴いて、災害への意識を高めてあの震災時の思いを発信して危機感を持つきっかけを与えてくれてよかった。
- ・ヴォイス・オブ・フクシマのコーナーはこの番組でやるべきものであるのか？ここだけが非常にシリアスで別の番組で流した方がいいのでは？
- ・この番組はたまに聴いているのですが、今回はいつもと違う内容だった。(たまたまこの日の放送が番組審議会にぶつかってしまったのだとは思うけれど)、いつもはもっとおしゃれなネタであったりとか、おいしいものの話であったりとか、アラフォーアラフィフ女性向けみたいな情報番組。
- ・今回は北海道地震のことを話していたが、考えながら話しているのでもしその話をするのであれば原稿にしっかり起こして読めばよかったと思う。情報は原稿で、気持ちはしゃべりでメリハリを出した方がいいのでは？
- ・ヴォイス・オブ・フクシマは毎回素晴らしい内容で、引き続き伝えていかなければならない。
- ・選曲に関しては若い子は知らないかもしれないが、逆にターゲットである 40 代 50 代にとっては素敵な選曲だった。
- ・他社でも若い世代に見る（聴く）時間帯に政治の話を入れたり、また逆のこともしたりしているのでこちらでもがんばってほしい。
- ・一番感じたのは地震が起きて間もないときの放送なので、中身が全く見えてない。間合いも変でにわか作りの番組に聴こえた。

【会社からの回答】

- ・岩沢あさみさんは通常は男性。会社員でシャンソン歌手。
- ・番組テーマは 30 代から 50 代をターゲットにした美に関する番組。男性が聴くと「？」と思うかもしれない。
- ・内容の薄さに関しては、委員の皆様のご指摘の通りだと思う。突発的なもので、なおかつ自分にとっては不得手な話題を持ってきたことが準備不足の原因だったと思う。それでも発信したいという気持ちで特別編成となった。

- ・ヴォイス・オブ・フクシマは以前この番組の前任者が福島の方とお話しして始まったもの。番組が持つコンテンツとしていただいている。

(1) ②その他の放送番組について

- ・送り盆特番を聴いたが、素人っぽくて、船に詳しい人を入れて解説した方がいいのでは？
- ・同じ日の9時半頃の番組内で音フェスのPRをしていたのですが、男性が「九品寺は本堂からの冷房があって涼しい」と言っていたが九品寺に確認したところ冷房はありませんとのことだった。それと同じ人が、アイスドリアンは小松屋で売っているのよねやで売っているのでは味が違うと言っていたのでこれも小松屋に確認したところ、よねやで売っているものは袋を閉じているが小松屋で売っているものはかぶせただけという違いはあるが中身は一緒とのことだった。一応確認して話した方がいい。